

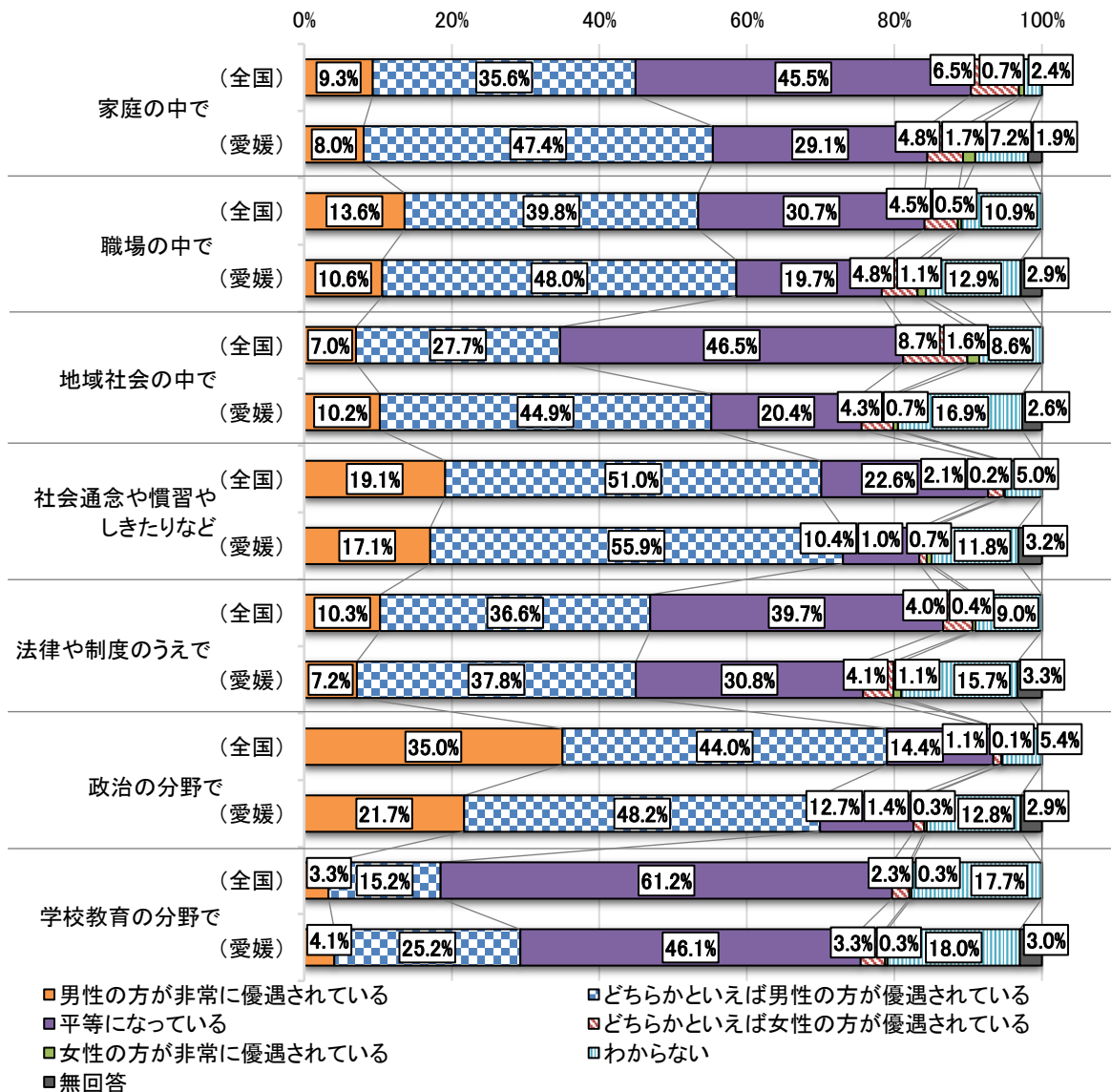
## IV 国の調査との比較

### 問2 男女の地位の平等感

あなたは、次の各分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。アからキのそれぞれの分野について、該当するものを一つ選んで番号を○で囲んでください。

内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査（令和元年9月）」で全国調査の数値と比較すると、「平等になっている」と回答した者の割合は、全ての分野で全国調査より下回っている。

また、「男性の方が優遇されている」と回答した者（「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の合計）の割合は、「法律や制度」、「政治」を除き、全国調査より上回っている。



※ 全国調査の数値は、内閣府男女共同参画局「男女共同参画社会に関する世論調査」（令和元年9月）より。（「地域社会の中で」は、内閣府調査では、「自治会やPTAなど地域活動の場」。）

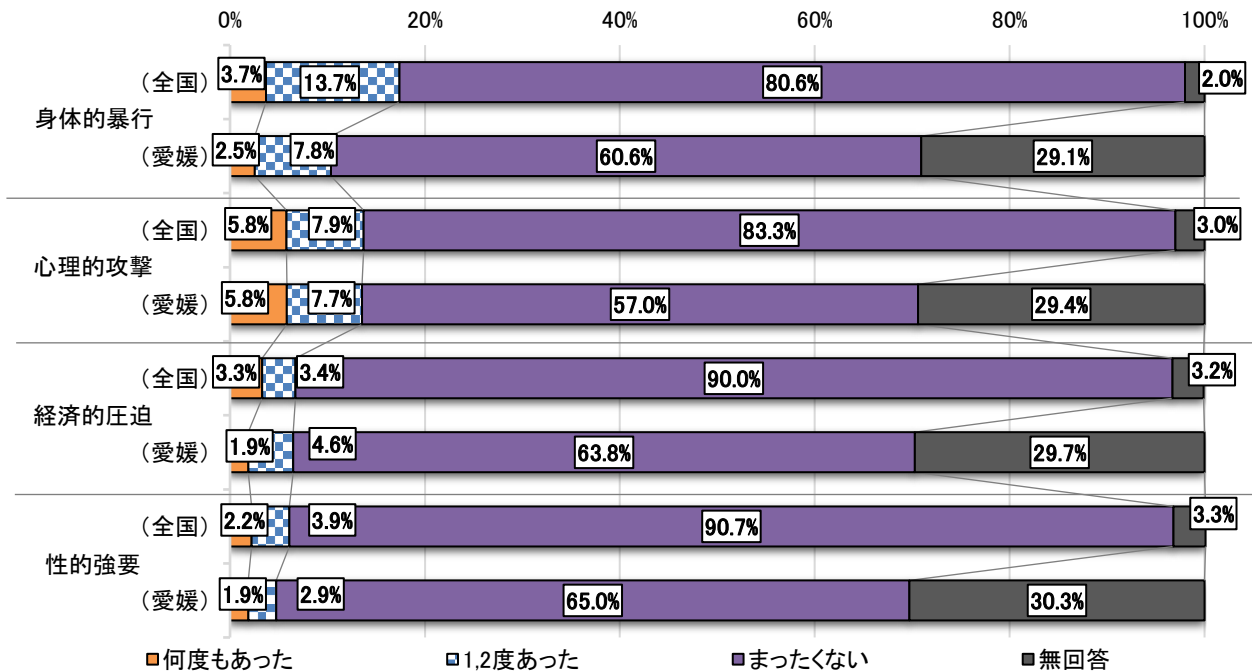
## 問5 夫婦間、生活の本拠を共にする交際相手の暴力の有無

(現在、夫や妻(事実婚や単身赴任など別居中を含む)、生活の本拠を共にする交際相手のいらっしゃる方へ)

あなたはこれまでに、あなたの夫や妻(事実婚や単身赴任など別居中を含む)、生活の本拠を共にする交際相手から、次のような行為をうけたり、されたことがありますか。次のアからエのそれぞれについて、該当するものを一つ選んで番号を○で囲んでください。

(「無回答」には、現在、夫や妻(事実婚や単身赴任など別居中を含む)、生活の本拠を共にする交際相手のいない方も含む)

内閣府「男女間における暴力に関する調査票(平成29年12月)」で全国調査の数値と比較すると、「身体的暴行」の経験がある」と回答した者(「何度もあった」と「1、2度あった」の合計)の割合は、全国調査より7.1ポイント下回っている。



※ 全国調査の数値は、内閣府男女共同参画局「男女間における暴力に関する調査票」(平成29年12月)より

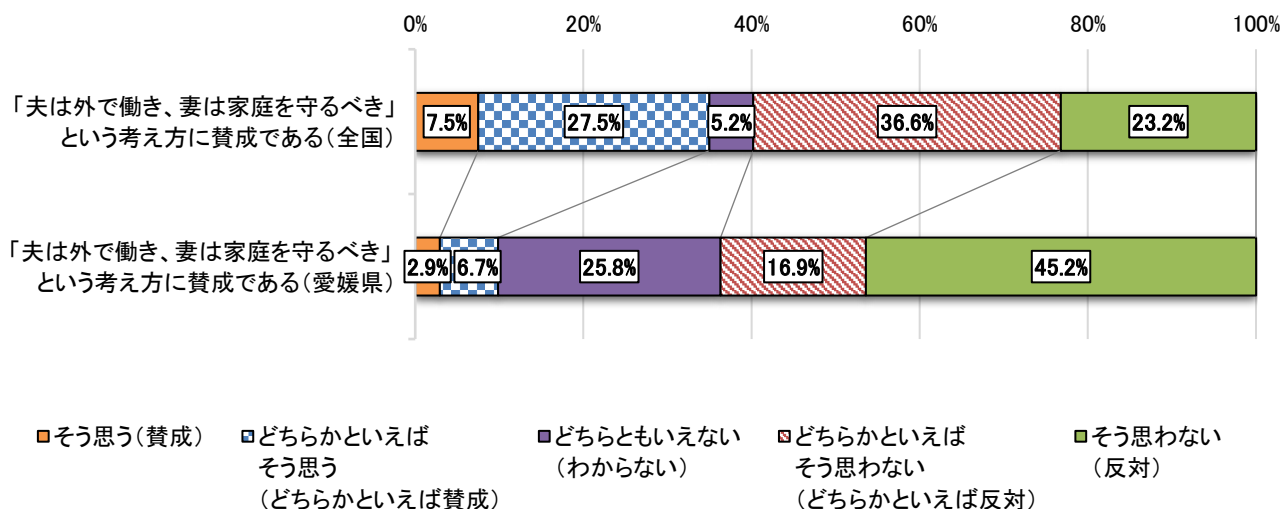
※ 全国調査の調査対象は「全国20歳以上の男女」、愛媛県調査の調査対象は「18歳以上の県内在住者」となっている。

※ 全国調査ではこれまで結婚をしたことのある人に聞いており、愛媛県調査では、「現在、夫や妻(事実婚や単身赴任など別居中を含む)、生活の本拠を共にする交際相手のいらっしゃる人」という条件を付し、「無回答」には、現在、夫や妻(事実婚や単身赴任など別居中を含む)、生活の本拠を共にする交際相手のいない方も含む。

## 問9 結婚、家庭、離婚についての意見

結婚、家庭、離婚について、あなたの御意見をお伺いします。アからオまでの各項目ごとに「そう思う」「どちらともいえない」「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」など五つの選択肢の中からそれぞれ一つ選んで番号を○で囲んでください。

内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査（令和元年9月）」で全国調査の数値と比較すると、「そう思わない（反対）」と回答した者（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）の割合は、全国調査より2.3ポイント上回っている。

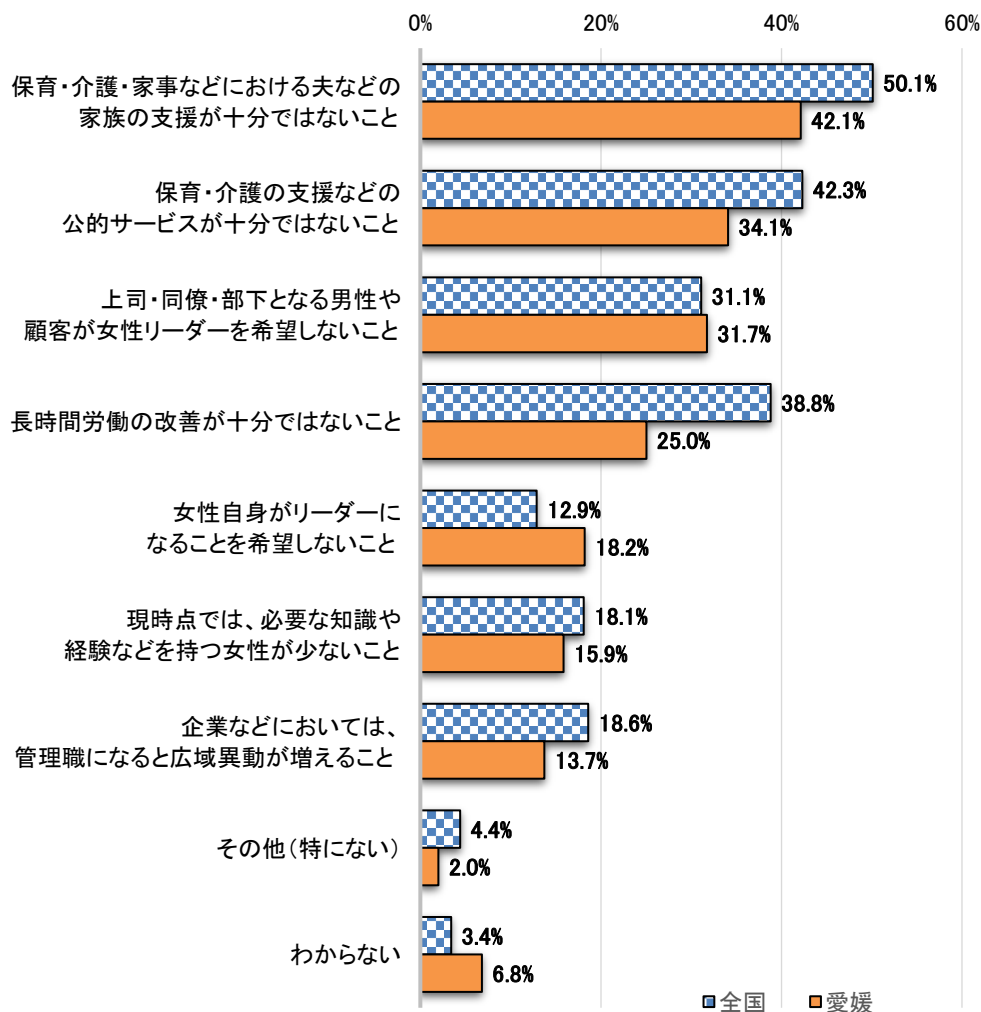


- ※ 全国調査の数値は、内閣府男女共同参画局「男女共同参画社会に関する世論調査」（令和元年9月）より。  
 ※ 全国調査の選択肢は、「賛成」、「どちらかといえば賛成」、「どちらかといえば反対」、「反対」、「わからない」となっている。愛媛県調査の選択肢は、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」、「どちらともいえない」、「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」となっている。

### 問 13 女性リーダーを増やすときの障がい

政治・経済・地域・家庭などの各分野で、女性のリーダーを増やすときに障がいになるものは何だと思いますか。次の中からあなたのお考えに近いものを二つまで選んで番号を○で囲んでください。(複数回答)

内閣府「女性活躍推進に関する世論調査(平成26年8月)」で全国調査の数値と比較すると、回答の差が5.0ポイントを超えるもののうち、全国調査の方が高くなっているものは、「保育・介護・家事などにおける夫などの家族の支援が十分ではないこと」、「保育・介護の支援などの公的サービスが十分ではないこと」、「長時間労働の改善が十分ではないこと」となっている。



※ 全国調査の数値は、内閣府男女共同参画局「女性活躍推進に関する世論調査」(平成26年8月)より

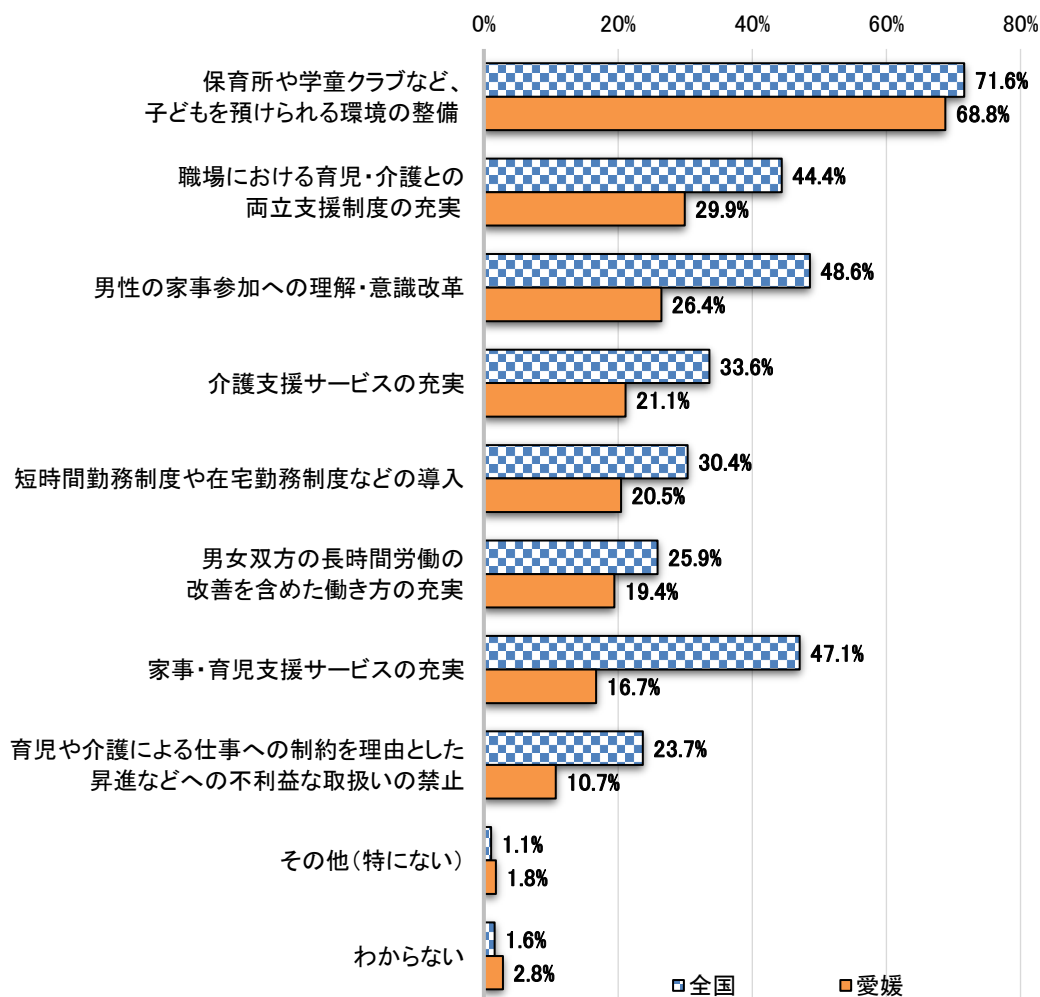
※ 全国調査の回答は「いくつでも」、愛媛県調査の回答は「2つまで」となっている。

※ 全国調査の調査対象は「全国20歳以上の日本国籍を有する者」、愛媛県調査の調査対象は「18歳以上の県内在住者」となっている。

## 問 21 出産後働き続けるために家庭・社会・職場において必要なこと

女性が出産後も離職せずに同じ職場で働き続けるために、家庭・社会・職場において必要なことは何だと思いますか。次の中から三つまで選んで番号を○で囲んでください。(複数回答)

内閣府「女性活躍推進に関する世論調査(平成26年8月)」で全国調査の数値と比較すると、全ての項目で全国調査より下回っている。中でも、「家事・育児支援サービスの充実」(30.4ポイント)、「男性の家事参加への理解・意識改革」(22.2ポイント)は全国調査との差が大きい。



※ 全国調査の数値は、内閣府男女共同参画局「女性活躍推進に関する世論調査」(平成26年8月)より

※ 全国調査の回答は「いくつでも」、愛媛県調査の回答は「3つまで」となっている。

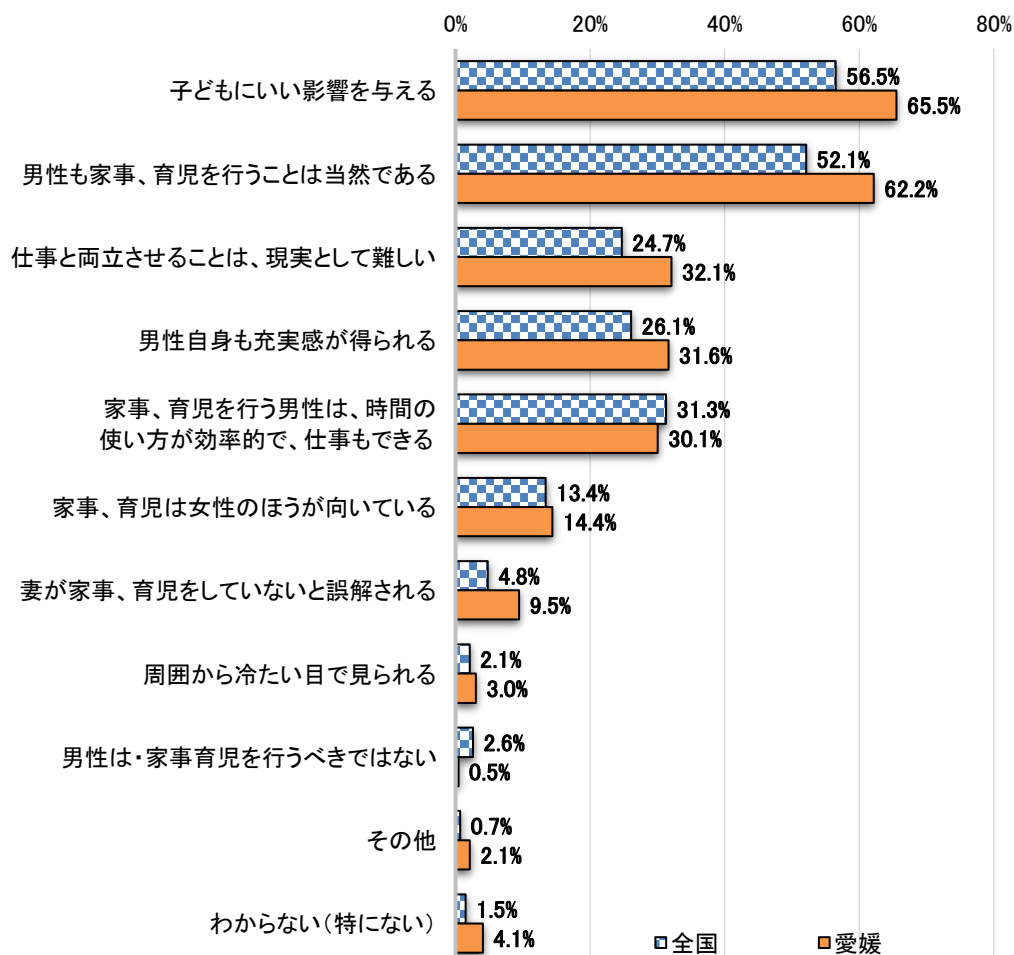
※ 全国調査の調査対象は「全国20歳以上の日本国籍を有する者」、愛媛県調査の調査対象は「18歳以上の県内在住者」となっている。

## 問 22 男性が家事・育児を行うことへのイメージ

あなたは、男性が家事、育児を行うことについて、どのようなイメージを持っていますか。次の中から三つまで選んで番号を○で囲んでください。(複数回答)

### 【全国との比較】問 22 男性が家事・育児を行うことへのイメージ

内閣府「女性活躍推進に関する世論調査（平成 26 年 8 月）」で全国調査の数値と比較すると、「家事、育児を行う男性は、時間の使い方が効率的で、仕事もできる」を除き、全国調査との差が大きい。



※ 全国調査の数値は、内閣府男女共同参画局「女性活躍推進に関する世論調査」（平成 26 年 8 月）より

※ 全国調査の回答は「いくつでも」、愛媛県調査の回答は「3つまで」となっている。

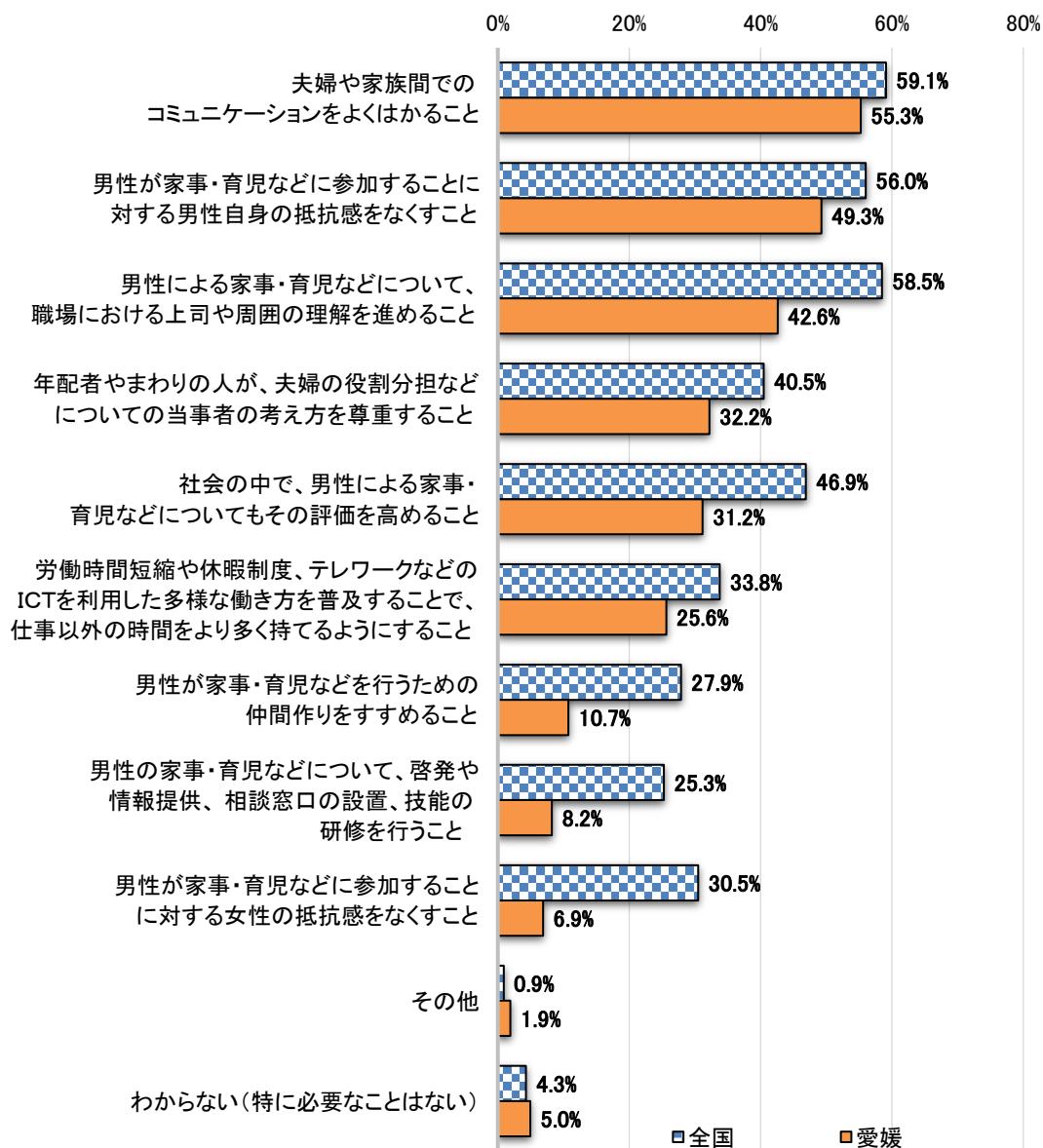
※ 全国調査の調査対象は「全国 20 歳以上の日本国籍を有する者」、愛媛県調査の調査対象は「18 歳以上の県内在住者」となっている。

## 問 23 男性の家事等への参加に必要な条件

今後、男性が女性とともに家事、子育てや教育、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から三つまで選んで番号を○で囲んでください。(複数回答)

### 【全国との比較】問 23 男性の家事等への参加に必要な条件

内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査（令和元年9月）」で全国調査の数値と比較すると、全ての項目で全国調査より下回っている。「男性が家事・育児などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと」（23.6ポイント）が最も全国調査との差が大きい。



※ 全国調査の数値は、内閣府男女共同参画局「男女共同参画社会に関する世論調査」（令和元年9月）より  
 ※ 全国調査の回答は「いくつでも」、愛媛県調査の回答は「3つまで」となっている。

## 問 24 生活の中での優先順

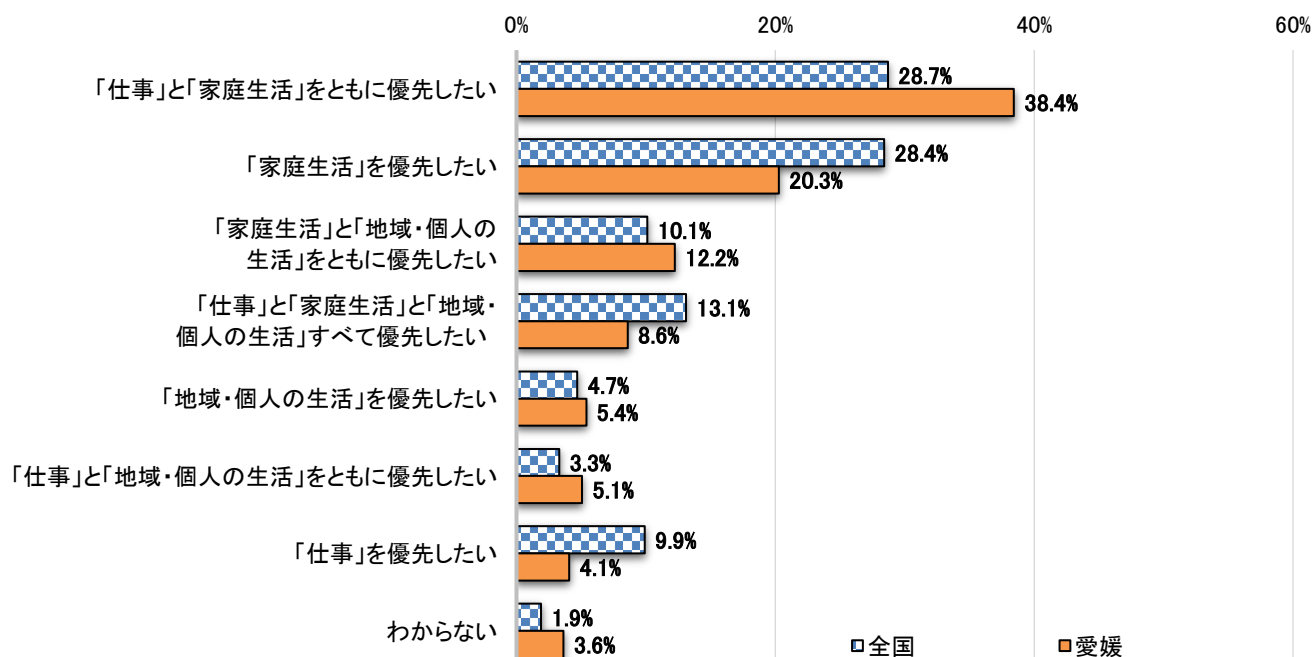
生活の中での「仕事」「家庭生活」地域活動・学習・趣味・付き合いなどの「地域・個人の生活」の優先順についてお伺いします。(1)、(2)について、それぞれ一つ選んで番号を○で囲んでください。

(1) あなたの希望に最も近いものについて

(2) あなたの現実・現状に最も近いものについて

### (1) あなたの希望に最も近いものについて

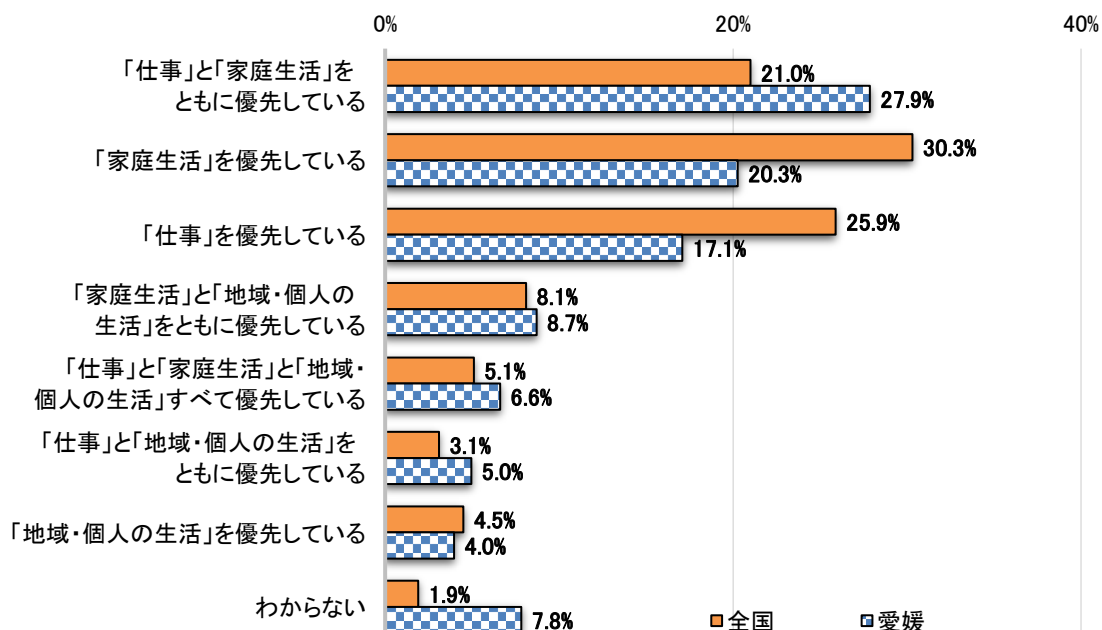
内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査（令和元年9月）」で全国調査の数値と比較すると、「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい」と回答した者の割合で、全国調査より9.7ポイント上回っており、「家庭生活」を優先したい」と回答した者の割合では、全国調査より8.1ポイント下回っている。



※ 全国調査の数値は、内閣府男女共同参画局「男女共同参画社会に関する世論調査」（令和元年9月）より

### (2) あなたの現実・現状に最も近いものについて

内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査（令和元年9月）」で全国調査の数値と比較すると、「仕事」と「家庭生活」をともに優先している」と回答した者の割合で、全国調査より6.9ポイント上回っており、「家庭生活」を優先している」と回答した者の割合では、全国調査より10.0ポイント下回っている。



※ 全国調査の数値は、内閣府男女共同参画局「男女共同参画社会に関する世論調査」（令和元年9月）より